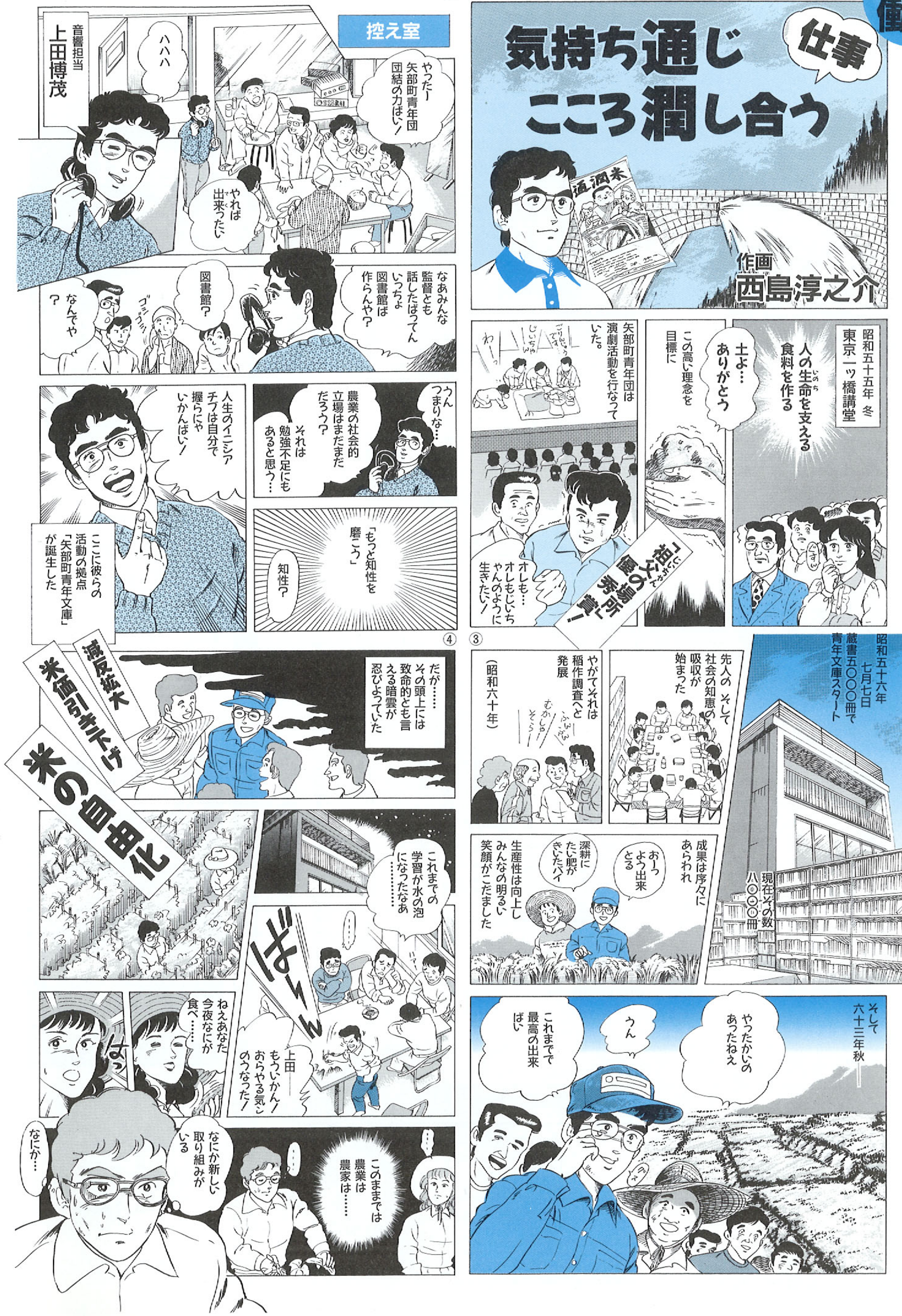
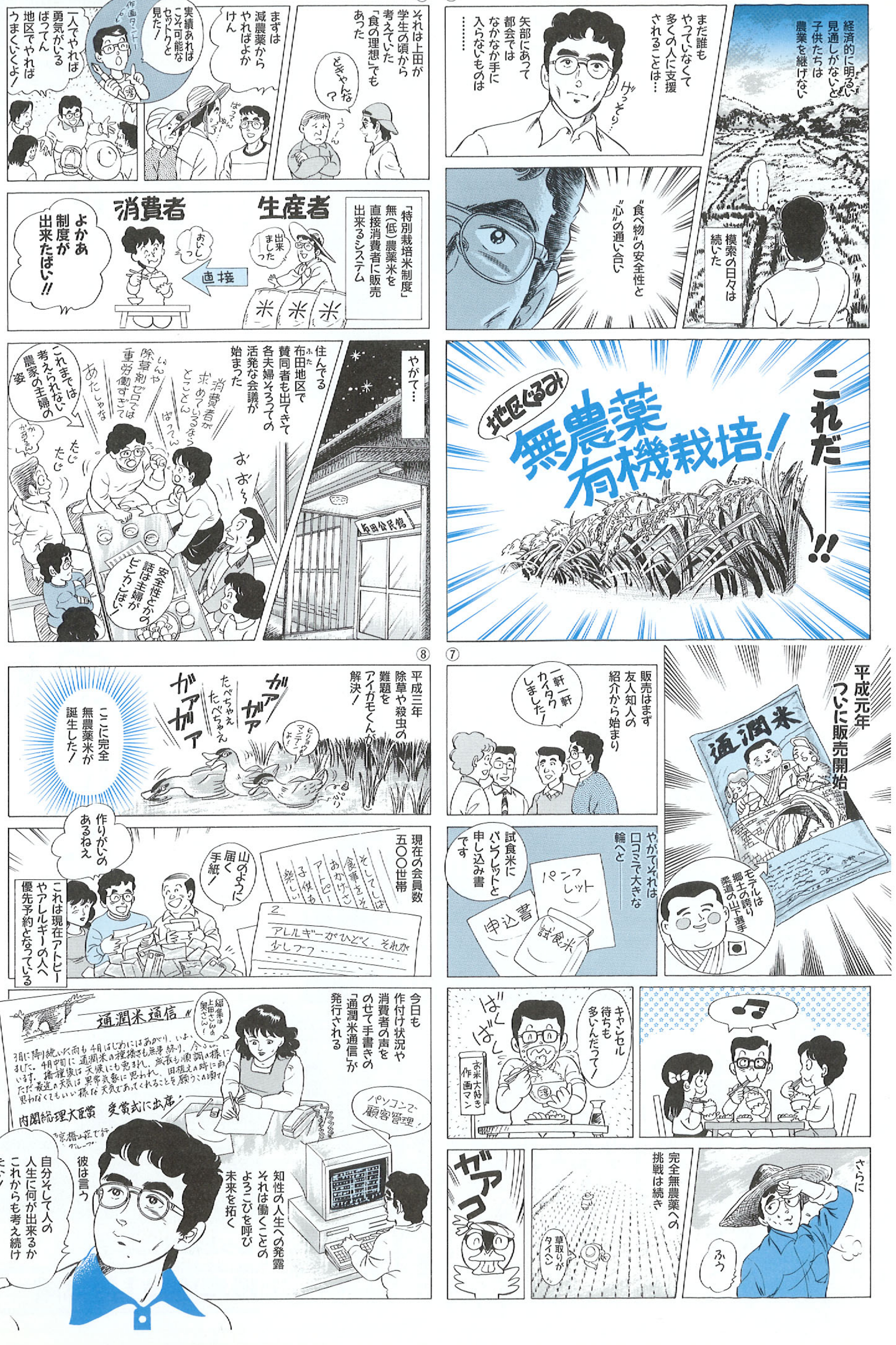
気持ち通じ こころ潤し合う 仕事

作画 西島淳之介


①
②
昭和五十五年 冬 東京一ッ橋講堂
人の生命（いのち）を支える食料を作る
くすん
土よ… ありがとう
この高い理念を目標に
矢部町青年団は演劇活動を行なっていた。
ごりんじゅうです…
じいちゃん
わーっ
「祖父（じいちゃん）の場所」で優秀賞！
オレも… オレもじいちゃんのように生きたい！
控え室
音響担当 上田博茂
ハハハ
やったー 矢部町青年団 団結の力ばい！
やれば出来（でく）ったい
なあみんな 監督とも話したばってん いっちょ図書館ば作らんや？
図書館？
ゴシ ゴシ
なんでや？
うん つまりな…
農業の社会的立場はまだまだだろう？
それは勉強不足にもあると思う…
人生のイニシアチブは自分で握らにゃいかんばい！
「もっと知性を磨こう」
知性？
ここに彼らの活動の拠点「矢部町青年文庫」が誕生した
③
④
昭和五十六年 七月七日 蔵書五〇〇〇冊で 青年文庫スタート
現在その数 八〇〇〇冊
先人の そして社会の知恵の吸収が始まった
やがてそれは稲作調査へと発展
（昭和六十年）
ふむふむ
むかしゃそうら―
成果は序々にあらわれ
おーっ よう出来とる
深耕にたい肥がきいたバイ
生産性は向上し みんなの明るい笑顔がこだました
そして 六十三年秋――
やったかいのあったねえ
うん
これまでで最高の出来ばい
減反拡大
米価引き下げ
米の自由化
だが…… その頭上には致命的とも言える暗雲が忍びよっていた
これまでの学習が水の泡になったなあ……
……
ばーん
上田―― もういかん！ おらやる気ンのうなった！
ねえあなた 今夜なにが食べ……
はっ
このままでは 農業は 農家は……
……
……
なにか新しい取り組みがいる
なにか…


⑤
⑥
経済的に明るい見通しがないと 子供たちは農業を継げない
……
模索の日々は続いた
まだ誰もやっていなくて 多くの人に支援されることは…
ゲッそり…
矢部にあって 都会ではなかなか手に入らないものは……
"食べ物"の安全性と "心"の通い合い
これだ――!!
地区ぐるみ
無農薬 有機栽培！
それは上田が学生の頃から考えていた「食の理想」でもあった
どぎゃんな？
うーん
まずは減農薬からやればよかけん
ばってん…
実績あればこそ可能なセットクと見た！
作画タントー
一人でやれば勇気がいるばってん 地区でやればうまくいくよ！
「特別栽培米制度」 無（低）農薬米を直接消費者に販売出来るシステム
生産者
出来ましたっ
直接
消費者
おいしーっ
米 米 米
よかぁ制度が出来たばい!!
やがて…
住んでる布田（ふた）地区で賛同者も出てきて各夫婦そろっての活発な会議が始まった
布田公民館
消費者が求めているならとことん
ばってん
いんや 除草剤ゼロでは重労働すぎて
あたしゃな
たじ たじ
か…かあちゃん
おお〜
安全性とかの話は主婦がビンかんばい！
これまでは考えられない農家の主婦の姿
⑦
⑧
平成元年 ついに販売開始
通潤米
モデルは郷土の誇り 柔道の山下選手
販売はまず友人知人の紹介から始まり
一軒一軒カイタクしました！
やがてそれは口コミで大きな輪へと――
試食米にパンフレットと申し込み書です
パンフレット
申込書
試食米
♪
キャンセル待ちも多いんだって！
ばくばく
お米大好き作画マン
さらに
ふう
完全無農薬への挑戦は続き
草取りがタイヘン
ガアコ
平成三年 除草や殺虫の難題をアイガモくんが解決！
ガアガア
ガアガア
たべちゃえ たべちゃえ
ヒリョウもマンテンよ！
ぷり
ここに完全無農薬米が誕生した！
現在の会員数 五〇〇世帯
そしてしば
食事をそ
おかげさ
アトピー
子供も
楽しい
2
アレルギーがひどく、それが
少しづつ
山のように届く手紙！
作りがいのあるねえ
これは現在アトピーやアレルギーの人へ優先予約となっている
今日も作付け状況や消費者の声をのせて手書きの「通潤米通信」が発行される
通潤米通信
編集は上田さんの奥さん！
3月に降り続いた雨も 4月はじめにはあがり、いよ
ました。4月中旬に 通潤米の種播きも無事 終り、今
います。播種後は天候にも恵まれ、成長も順調の様に
ただ最近の天気は 異常気象に思われ、田植えの時に雨
思わなくてもいい様な 天気であってくれることを願うこの頃で
内閣総理大臣賞 受賞式に出席！
京塚山荘で行
グループ
パソコンで顧客管理！
知性の人生への発露 それは働くことのよろこびを呼び 未来を拓く
彼は言う
自分そして人の人生に何が出来るか これからも考え続けたい！